

# 姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

# ニュース

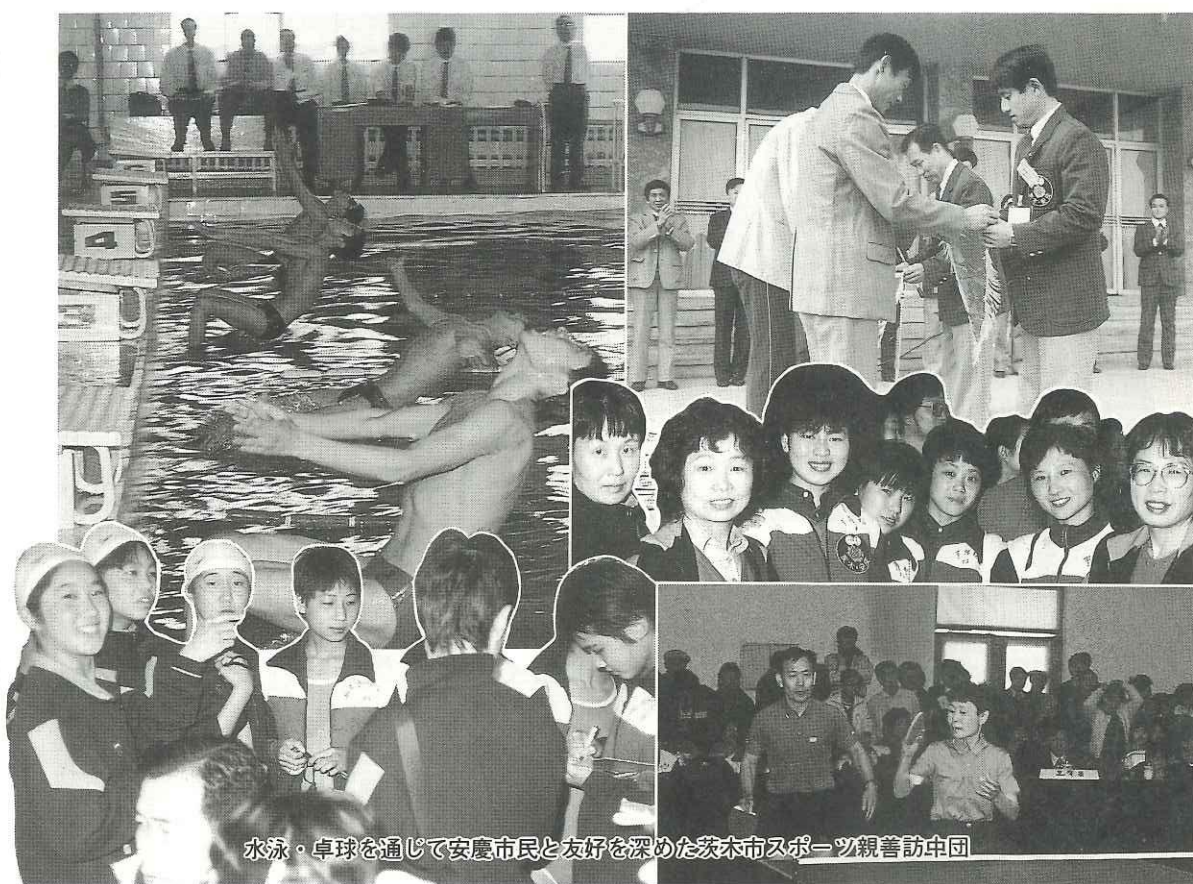
協会報

第 12 号

平成元年 5月13日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



水泳・卓球を通じて安慶市民と友好を深めた茨木市スポーツ親善訪中団

## 目次

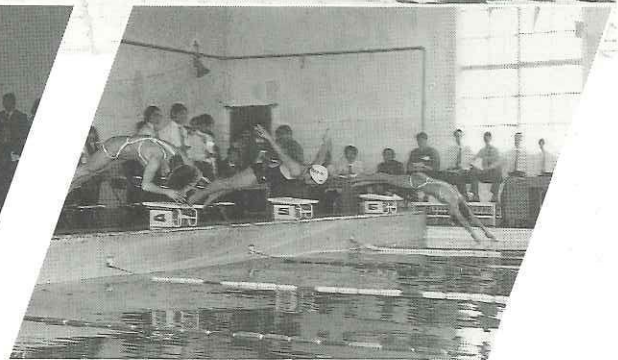
|                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 安慶市へ初のスポーツ交流訪問団.....             | P 2・P 3 |
| 中国帰国児童・生徒適応学級で教える王慶中さん.....      | P 3     |
| 市制施行40周年を祝って多彩な交流.....           | P 4・P 5 |
| 市民外交の一翼担う姉妹都市活動室と青少年活動室.....     | P 6・P 7 |
| 英語スピーチ大会、会員募集.....               | P 7     |
| 6月にミネアポリス市の少女合唱団公演、国際交流の足あと..... | P 8     |



両市の選手が集まって記念写真



本場の卓球に必死の挑戦



実力迫中の好レースを展開

# 安慶市へ初のスポーツ交流訪問団

## 水泳・卓球で熱戦を展開

例年になく早く桜の花がほころび始めた3月下旬、「茨木市スポーツ親善訪中団」が安慶市を訪問しました。

これまで、アメリカ・ミネアポリス市とは、野球・サッカーの交流を行っていますが、安慶市とは初めてのスポーツ交流で、中学生を中心とした水泳・卓球選手各16人が、2日間にわたり熱戦をくりひろげました。

青少年宮での開会式の後、水泳は安慶石油コンビナート内の温水プールで、卓球は青少年宮内の会場で、それぞれ種目別に試合を行いました。各種目とも接戦となり、観衆を大きくわかせました。

一行は、このほか、市内見学や黄梅劇・曲技の観賞など、香り高い中国の文化に触れ、深い感動に包まれながら帰国の途につきました。



## 交流に参加して



### 友好親善に貢献を期待

団長 大友 康巨

中学生の水泳・卓球選手  
の皆さんと初めて安慶市を

訪問し、2日間親善試合を行いました。

卓球は、国技の中国の方がレベルが高く、水泳は、トップレベルが互角で、層は茨木の方が厚いと感じました。

中学生の皆さんは、安慶の選手たちと交歓を深め、将来、日中の友好親善に貢献してくれるものと期待しています。

(大阪府議・市協副会長・市水連会長)



レースの後に仲良く入浴



### 緊張をほぐした雰囲気

水泳選手 吉川 智子

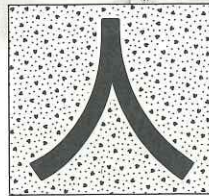
初めての国際試合に、も

っと緊張するかと思いましたが、意外にリラックスしてレースに臨むことができました。きっと、中国の人たちが、緊張しないようにと穏やかな雰囲気を漂わせてくれたからでしょう。

この雰囲気を感じとったことによって、人として、一回りも二回りも成長したように思います。

(養精中学校 2年生)

### 適応学級で教える王慶中さん



日本語指導の  
「やさしい」先生

王慶中さん

本号からシリーズで茨木市の国際交流で活躍されている外国の人たちを紹介します。

トップバッターは、中国からの帰国児童・生徒の適応学級で、日

本語や生活習慣を指導されている王慶中さんです。

王さんは、中国・北京市から追手門学院大学への私費留学生で、日本の経済を研究され、卒業後は、日中の相互理解と文化・経済交流に取り組みたいと抱負を語っておられます。

来日して5年、流暢な日本語と国際親善への熱意から適応学級の指導員に選ばれ、他の2人の指導員とともに、「やさしい先生」として9人の子どもたちからわたわれています。

「子どもたちは一生懸命に勉強しており、日本の生活は厳しいが、子どもたちとともに私も力いっぱい頑張っていきたい」と語ってくれました。

今後の幅広い活躍を期待しています。



# 市制施行 40周年 を祝つて

## 姉妹・友好都市と 多彩な交流。

昨年は、茨木市が市制施行40周年を迎えた記念すべき年で、これを記念してさまざまな行事・事業が展開されました。

国際交流の分野でも、5月の安慶市への市民親

善訪中団の派遣を皮切りに、ミネアポリス市への少年サッカーチームの派遣(7月)、ミネアポリス市少年野球チームの受入れ(8月)が、協賛行事・事業として行われました。

また、10月には、かねてからの念願であった「国内姉妹都市」提携が、記念事業の一環として、香川県内海町(小豆島)との間で結ばれました。

そして、11月の記念式典には、各姉妹・友好都市代表が列席して花を添えるとともに、ミネアポリス市議会議長による人権問題講演会・懇談会、安慶市文化芸術友好団の「黄梅劇・曲技公演」も行われました。



潘团长・重富市長も登場して別れを惜しむフィナーレ



きらびやかな衣裳の黄梅劇

### 安慶市文化芸術友好団が公演

## 舞と曲技に拍手の渦

一昨年の公演で好評を博した「黄梅劇」と「曲技」が、市制施行40周年と友好都市締結3周年を記念して、再び茨木市民の前で披露されました。

京劇とルーツを同じくする黄梅劇は、素朴で、庶民的な温かみがあり、曲技は2,000年余の昔か

らすでに完成された芸術で、どちらも幅広く大衆に親しまれています。

公演は、3日間で5回行われ、延べ約5,000人の観客は、長い歴史を持つすぐれた芸術に、盛大な拍手を送っていました。



# 海外の友 記念式典に花添える

菊花薫る11月3日の「文化の日」に、「茨木市市制施行40周年記念式典」が挙行されましたが、これに、茨木市の各姉妹・友好都市代表が列席され、花を添えていただきました。

姉妹都市ミネアポリス市からは、アリス・ラインビル市議会議長と市長代理のサンドラ・ヒラリー市議會議員はじめ12人が来茨、友好都市安慶市からは、潘忠堯市人民代表大会常務委員会主任が、文化芸術友好団の団長（他41人）として来茨されました。

また、10月に姉妹都市となったばかりの香川県内海町からは、川西寿一町長と森福守町議會議長が列席されました。

重富市長は式典の中で、「国の内外から私の尊敬する皆様方が、遠路のところご出席いただき、



厳肅な雰囲気の中で行われた記念式典

この式典に大きな意義を加えていただきましたこと、ただただ感謝の外はありません。」とお礼の言葉述べました。

ミネアポリス市  
ラインビル議長

## 人権問題を講演

市民とも懇談会で意見交換



人権問題講演会で講演するラインビル議長（円内）

記念式典への列席のため来茨されたミネアポリス市のアリス・ラインビル市議會議長が、市制施行40周年と世界人権宣言40周年を記念して、市民約400人を前に、人権問題について講演されました。

講演は、「基本的人権と国連の役割」を中心に話が進められ、世界人権宣言の意義と人権意識確立の大切さを訴えられました。

そして、講演に引き続き開かれた市内人権関係団体との懇談会でも、活発な意見交換が行われました。



姉妹都市活動室のクリスマスパーティー



# 市民外交の一翼担う 活発化する姉妹・青少年

本協会では、英語力及び国際感覚の向上をめざす人のために、毎月、「姉妹都市活動室」と「青少年活動室」を開いています。

姉妹都市活動室は、1956年にアメリカの故アイゼンハワー大統領が提唱した、姉妹都市活動の原点である“People to People”運動に立脚し、市民レベルでの相互理解を深め、ひいては国際平和に寄与することを目的として、外国人ゲストを迎えての講演会、研究会などを、原則として英語で行っています。その成果を、ミネアポリス市からの訪問団を迎えた際に、本市の国際交流に欠くことのできない存在として、本市の国際交流に欠くことのできない存在として、市民外交の一翼を担っています。

また、青少年が気軽に参加しながら英語に親しむ“楽しく気軽なサ

ロン”として、外国人を迎えて、話したり、歌ったり、ゲームをしたり、学校の授業とは一味違った英語の勉強会となっています。

両活動室とも、参加者の熱気にあふれ、活発な活動が行われています。このような活動を通じて本市の国際交流の底辺が広がり、国際社会に対応できる人材の育成がはかられています。

国際人をめざす皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。それぞれの例会及び会費は次のとおりです。

年活動室は、中・高校生  
でき、楽し



カタコトの英語でもOKの青少年活動室



# 活動室

〔姉妹都市活動室〕

〈例会〉月2回、  
木曜日…第1 木曜日  
10時～12時、土曜日  
…第3 土曜日14時～16  
時、いずれも主に茨木  
市福祉文化会館内で開い  
ています。

〈会費（年額）〉正会員  
1,000円（18歳以上）、準会  
員500円（中・高校生）

〔青少年活動室〕

〈例会〉月1回、原則として第  
4日曜日14時～16時、主に茨木  
市福祉文化会館内で開いています。  
（各月の詳細は、毎月中旬に市内  
中学・高校あて案内しています）

〈会費〉半年で300円（中途入会は  
月50円で計算します）



## 英語スピーチ大会で 雄弁を競う

優勝は前川さん(中)と高橋さん(高)



中学生の部優勝  
の前川愛さん



高校生の部優勝  
の高橋玲子さん

“21世紀を担う青少年に国際感覚を身につけてもらおう”と始めた本協会主催の「英語スピーチ大会」も5回を迎え、中学生16人、高校生14人の参加により、去る11月13日に、茨木市福祉文化会館文化ホールで開催しました。

茨木市教育月間行事のひとつとして、また、市制施行40周年記念行事のひとつとして行われたこの大会は、中学生が暗唱課題、高校生が自由課題で競われ、身ぶりや表情で個性を発揮するなど、それぞれに工夫をこらした楽しいスピーチを披露してくれました。

入賞されたみなさんは次のとおりです。（敬称略）

〔中学生の部〕〈1位〉前川愛（南中学校3年）〈2位〉川上恵美子（北陵中学校3年）〈3位〉古谷実里（北辰中学校3年）

〈ジャパントイムズ賞〉山本まき（西陵中学校2年）

〔高校生の部〕〈1位〉高橋玲子（茨木高校2年）〈2位〉淵上崇（摂陵高校1年）〈3位〉名和素子（茨木西高校2年）〈ジャパントイムズ賞〉西山陽子（茨木高校1年）

### 協会会員募集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際親善に熱意を持っておられる方々の入会を心からお待ちしております。

会員には、年2回発行しています協会報などによる本市国際活動情報の提供、会の催す姉妹・友好都市との交流行事・ゴルフコンペ等へのご案内をいたします。

〈会費（年額）〉個人会員（一般） 2,000円  
（学生） 1,000円  
団体・法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉協会事務局（市役所 3階 自治推進課  
国際交流係 電話22-8121 内線2143）

# 6月18日 三市少女合唱団が公演

## 6月2日から入場整理券を配布

文化交流として、ミネアポリス市から「ベル・カント・ボイス少女合唱団」(団員40人)が来茨し、茨木市市民会館大ホールで、茨木市児童合唱団、府立春日丘高校音楽部とのジョイント・コンサートをを行います。

この合唱団は、ミネソタ州のオペラ劇団やオーケストラとの共演など活発な演奏活動を行っています。ぜひご来聴ください。



来日が待ち遠しいベル・カント・ボイス少女合唱団

<日時> 6月18日(日)

(昼の部) 午後2時開場、2時半開演

茨木市児童合唱団とのジョイント

(夜の部) 午後6時開場、6時半開演

春日丘高校音楽部とのジョイント

入場整理券を6月2日から協会事務局で配布します。(先着順、1人2枚まで)

### 寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと、次の方々から温かいご寄付をいただきました。ご好意に心からお礼申し上げます。(11月～4月、敬称略)

<市へ>

12月・大阪府茨木遊技業組合(100万円)

3月・田口勝彦(10万円)

## 茨木市における国際交流の足あと

— 第11号以降の経過 —

(1988年)

63.11 「姉妹・友好都市ニュース」第11号発行

11 茨木市市制施行40周年記念式典挙行。ミネアポリス市、安慶市、内海町の各姉妹・友好都市代表列席

11 ミネアポリス市アリス・ラインビル市議会議長による人権問題講演会・懇談会を開催

11 安慶市文化芸術友好団「黄梅劇」と「曲技」を公演

11 第5回本協会英語スピーチ大会開催

11 茨木市農業祭に内海町から参加。特産展を開催。特産品即売



▲記念式典で祝辞を述べる内海町長

▲会場を盛り上げた内海町の特産品即売

▲野だてを楽しむ安徽省友好訪問団団長

(1989年)

1. 1 ベル・カント・ボイス少女合唱団代表キャシー・ブライアント女史来茨。6月の茨木市公演について打合せ

1 ミネアポリス市少年野球チーム監督ガーリィ・ダウニング氏来茨。7月の茨木市少年野球チーム派遣について打合せ

3 茨木市スポーツ親善訪中団一行36人安慶市訪問

4 安徽省友好訪問団一行4人来茨

5 茨木市民親善訪中団一行8人安慶市訪問